

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社ニッソー					
代表者名	氏名	牧 恵一郎	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県須坂市大字八重森 2 - 2					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	27 業務用機械器具製造業				
主たる事業の概要	精密ガラス研磨					
制度に該当する要件	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	1,469.53	1,454.83	1,391.80		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	2,746.12	2,718.00	2,599.67		
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>					
自動車の台数	台	7		7		
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>					

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2021	年度	計画期間	2022	年度～	2022	年度
報告対象年度	2022	年度					

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

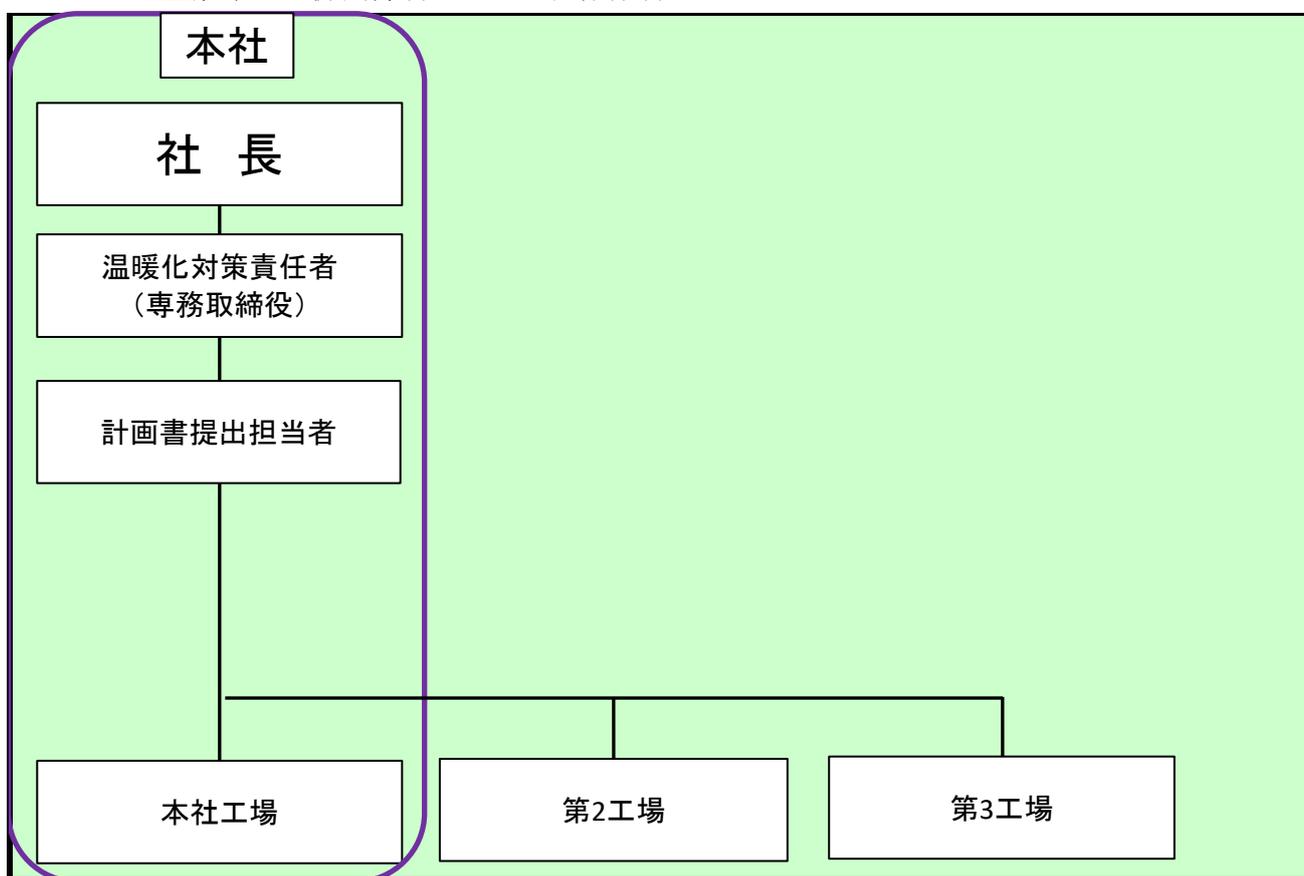
<input type="checkbox"/>	ホームページ	場所 : 長野県須坂市大字八重森 2 - 2 株式会社ニッソー本社 時間 : 10:00 ~ 16:00 担当部署 : 技術部設備技術課 連絡先 : 026-245-0637
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

ISO14001の環境方針に基づき、すべての企業活動において排出抑制・使用抑制・リサイクルを推進し、省エネルギー・省資源と廃棄物の削減を行う。

エネルギー管理組織によるエネルギー管理、エネルギー削減活動を行いエネルギー消費原単位を年平均1%以上削減する。

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

- ・環境エコ委員会 1回/2か月

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	2,746.12	t-CO <sub>2</sub>	延床面積	11.53	単位	k・m <sup>2</sup>
2021年度	調整後排出量	2,746.12	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	238.17	t-CO <sub>2</sub> /	k・m <sup>2</sup>
目標年度	目標排出量	2,718.00	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	235.79	t-CO <sub>2</sub> /	k・m <sup>2</sup>
2022年度	目標削減率	1.02	%	目標削減率	1.00	%	
目標設定に関する説明	年間1%のCO <sub>2</sub> 削減を目標としています。本年度はすでに、冷却水ポンプの更新及びA棟LAP室の照明をLED照明へと更新を行っています。さらに、使用時間の長い残りの現場内の照明をLEDに更新することを検討しており、さらなるエネルギー削減に努めてまいります。						
第一年度	排出量	2,599.67	t-CO <sub>2</sub>	延床面積	11.53	単位	k・m <sup>2</sup>
	削減率	5.33	%	原単位	225.47	t-CO <sub>2</sub> /	k・m <sup>2</sup>
2022年度	調整後排出量	2,599.67	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	5.33	%	
	削減率	5.33	%				
排出量等の増減理由	昨年度5月～8月にかけて、A棟LAP室の照明をLEDへと更新を行い、さらに2023年1月～3月にかけて、A棟POL室とB棟の工場照明の約9割を高効率のLED照明へ更新した。工場内は24時間稼働の現場が多く今回の照明の更新により、電気使用量の削減効果が期待できる。また、昨年7月に行った冷却水ポンプの更新についても、年中稼働しているポンプのため、削減効果が見込める。						
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	延床面積		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
一 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	延床面積		単位	
	削減率		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
一 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
2021 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
一 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
一 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
2021年度				基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
—年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
—年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施 年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	380752	A棟LAP室LED照明の導入	2022	8.2	2022	8.72
2	エネ起	360701	冷却水ポンプの更新	2022	6.3	2022	6.3
3	エネ起	380752	A棟POL室LED照明の導入	2022	19.2	2022	17.65
4	エネ起	380752	B棟1F LED照明の導入	2022	14.4	2022	16.07
5	エネ起	380752	B棟3F LED照明の導入	2022	4.7	2022	4.97
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	kW	100	0	100		

様式1号  
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	3	2,746.12	3	2,599.67				
合計	3	2,746.12	3	2,599.67				

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
CH <sub>4</sub>				
N <sub>2</sub> O				
HFC				
PFC				
SF <sub>6</sub>				
NF <sub>3</sub>				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	2	2		
合計	2	2	0	0
自動車総数	7	7		
次世代車導入割合	28.6	28.6		

様式1号  
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	例年ノーマイカー通勤を推奨し、公共交通機関の利用を推進してまいりましたが、コロナ禍のため積極的な推進を行えなかった。
自転車の利用促進	ノーマイカー通勤を推奨し、自転車の通勤を推進した。
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	なし

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		2020年
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2001年
	名称	ISO14001	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

<ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年、事業活動温暖化対策計画書制度の第1次計画期間において、優良事業者として表彰を受けた。</li> <li>・令和元年度エネルギー管理優良事業者等関東経済産業局長表彰を受けた。</li> <li>・冬期、ガス吸収冷温水機を止め、冷却塔を使用しフリークーリングで冷水を作っている。生産設備の熱源をヒータからエコキュートに変更した。さらに排水となった冷水をエアハン用の冷水として利用し、チラーの運転の削減を行っている。</li> <li>・各種ポンプのインバータ化を行い省エネを行っている。</li> <li>・デマンドコントローラによる、デマンド制御に加えて、エアコンの監視装置にて、運転状況の監視をし、無駄な運転と消し忘れ防止のための運転制御を行っている。</li> <li>・長期連休においては、設備停止等のリストを作成し、不要設備を停止又は最小限の運転にし、電力の削減を行っている。さらにパトロールをして実施状況の確認を行っている。</li> <li>・電力計等の計測器を各所に設置しそれらのデータをもとに、各課のエネルギーの使用状況をまとめ、それらを配布してエネルギー使用現状を各部署で共有しエネルギーの削減に努めている。</li> </ul>
---